

第40回 高知女子大学看護学会プログラム

—午前の部—

10:00～ 開会の挨拶

10:25～11:50 講演

テーマ「実践で活かすナラティブ・アプローチ」

講師 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

教授 遠藤 淑美

ナラティブ・アプローチを実践で活用するとはどういうことなのか？「語り」は、どのような看護師の育成に寄与し、看護の臨床に何をもちこたすのか？ナラティブを用いた看護教育や実践活動についてヒントをいただける講演です。

—午後の部—

13:30～15:30 ワークショップ『実践で活かすナラティブ・アプローチ』

ワークショップ1 ナラティブ・アプローチを活用したシミュレーション教育のデザイン

話題提供者 : 和田 道子 (近森病院) 松岡 義典 (高知医療センター)

高谷 恭子 (高知県立大学)

コーディネーター : 大川 宣容 (高知県立大学)

ワークショップ2 現任教育に活かすナラティブ・アプローチ

話題提供者 : 廣田 安希子 (浅香山病院)

コーディネーター : 富川 順子 (浅香山病院)

ワークショップ3 慢性の病いの語りの意味と可能性を探る

話題提供者 : 宮武 陽子 (高知県立大学名誉教授)

コーディネーター : 山中 福子 (高知県立大学)

ワークショップ4 ナラティブを引き出す聴く技術トレーニング *新人の看護師の方を対象

話題提供者 : 秋山 浩子

コーディネーター : 小笠原 麻紀 (高知大学医学部附属病院)

ワークショップ5 研究: 語りを分析する *看護研究に取り組まれている方を対象

話題提供者 : 飯高 伸五 (高知県立大学文化学部)

コーディネーター : 瓜生 浩子 (高知県立大学)

ワークショップ6 保健活動の伝承

話題提供者 : 山本 雅子 (高知県) 宗石 こずゑ (香美市)

コーディネーター : 時長 美希 (高知県立大学)

ワークショップ7 病院と地域をつなぐ ～今を語り合う～

話題提供者 : 岡本 しのぶ (高知赤十字病院) 山本 恵理 (高知赤十字病院)

コーディネーター : 小原 弘子 (高知県立大学)